十四日 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

一滴の水も流下しない藤原川
沿岸農村植付不能
饉餓水

田植期に入つて郡内早場の磐崎平窪、飯野方面では既に植付けを開殆したが、昨報梅雨入り後の當地方は名ばかりの梅雨入りで一雫の降雨も見ず此れがため全郡内に亘つて水不足の爲め植付不能地が續出、殊に例年水不足に惱む鮫川、藤原川沿岸農村の如きは最も甚だしく藤原川水源地から下流一帶一滴の水も流下しないと言ふ空前の渇水振りを現出此れが爲め早場地の磐崎村を筆頭に下流玉川、小名濱等の水田約三百町歩は全く植付け不能に陷り此のまゝで當分續けば由々しい一大事となるので各村當局では目下善處策に狂奔してゐる、尚玉川村では例の問題の入山炭礦坑内水が一時間約千二百石の流水あるので礦毒水の有無なぞ問題ではないとあつて藤原川と湯川の落合点下流にある万年堰を密閉して村内水田三百町歩に灌漑してゐるが礦毒水の有無は兎も角として此の入山排水によつて玉川全水田が水饑饉から救はれてゐる實狀から推して玉川村當局が入山會社に要求してゐる坑内水の藤原川放流問題は明らかに失敗に歸したと見るべきで溺れる者の弱さを如實に示してゐる。

平から臺灣へ！
タッタ六圓で直通電話
無線連絡電話開通

無線連絡に依る内地臺灣間電話通話事務は愈々六月二十日から實施せらるゝことゝなり平局も通話區域に編入されて之が準備に急いてゐるが、平からは電話加入者の外一般の方々も通話が出來一通話料金は六圓である。通話は秘密が保證された上國内の通話種別の先順位で取扱はれ通話取扱時間は一般加入者に於て爲すのは午前八時より午後十一時迄、加入者以外の方は午前八時より午後八時迄の間に平局に出局して通話する事が出來ます。尚詳細の事項は平局電話五百番に御照合されたいと。

▲西野書記出福　平町收入役代理西野書記は前町長伏見町長夫人の葬儀參列の爲め十三日出福した。

▲青沼町長上京　青沼平町長は今十三日午前九時平驛發列車で出京した。

日立電氣 郡下測量

日立電力株式會社では電氣工作に關し郡内町村の立入り調査測量を出願中であつたが此の程六月二十日から十二月まで出願町村の立入り調査測量を許可されたので同社では直ちに本郡内左記各町村の調査測量を開始する事になつた。

△大野、草野、神谷、平、平窪、赤井、好間、内郷、湯本、磐崎、渡邊、錦、勿來、植田

平町の麥作
豫想發表

平町農會の調査による今年度平町の大麥、小麥作柄は今十四日現在で左の如き豫想を發表した

△大麥四百十五石前年度より約九十九石減少、△小麥百九石前年より約五十一石增加。

蛭田川改修續行
國費支辨川編入に漏れ
匡救事業として施行

郡南蛭田川の國費支辨川編入を期して勿來、植田外沿岸各町村は協力地元金成貴族院議員の應援下に昨年來内務當局に猛烈な編入運動を續けて有望視されてゐたが、最後の決定に惜しくも漏れて編入絶望となつたので勿來町では已むなく今年度匡救事業として前年度に引續き下流の改修工事を行ふ事に決定十二日町會を召集町道酒井線の改修と併せて總工費六千圓を投じて着工を滿場一致で可決した。

縣税滯納 整理順調

郡内縣税滯納額は五萬圓の巨額に達してゐるので平税務出張所では年度替り直後から全郡下に亘り嚴重な整理を斷行した結果平、好間、神谷、湯本の四ヶ町村を除き九割四萬五千圓の滯納整理に成功した、意外の好成績に當局では大喜びだが近く殘余の平町外四ヶ町村に對して整理に着手する筈である。

幼ない叔父の罪
遊びに夢中になつて
可愛い甥を溺死さす

玉川村大字大原字小屋農海老根喜三郎三男英夫（一一）は昨十三日午前十時頃實姉から甥丈夫（二ッ）のお守りを言ひ付けられ自宅附近で遊戯中甥の丈夫を置忘れて戸外に遊びに飛出した爲め一人で這ひ出した丈夫は同家風呂場下水溜桶に墜落溺死した程經て家人が發見して大騷となり平署から係官出張檢視の上で死体は家人に引渡した。

伏見前町長の夫人長逝

前平町長伏見彦衛氏夫人チヨ刀首は病氣中の處十二日午八時十分死去した、葬儀は十四日午後二時福島市新町六十四番地出棺途中葬列を發し福島市早稲町東安寺で告別式を執行した。

平町絹織物生産高
六十四反、四百十七圓

平町では去月中に於ける絹織物の生産高を調査中であつたが五月中平町で生産された絹織物は縮緬四十五反三百三十七圓。銘仙十四反四十七圓、絹織紗織物五反三十三圓、總計六十四反、四百十七圓である。

▲四倉人口動態　四倉町役場調査に依る五月分出生、死亡、姻婚等左の如し。

出生十一名、内男子七名、女子四名、死亡十三名、男子六名、女子七名、婚姻五組

お悔みの香典が佛檀から雲隱れ
葬儀後の重なる不幸

神谷村大字向鎌田雜貨商勝倉彌藏方で次女ヒメ子が死亡したので十二日葬儀を執行したが帳場から渡された香典合計百八十圓を佛檀下の抽出しに入れ置いたところ翌朝に至つて何者かの爲めに窃取されたのを發見驚ろいて平署に届出たので安藤刑事部長以下出動捜査を續けてゐるが家内の樣子を知悉してゐる者の仕業らしいと言はれてゐる。

空巣男
平署で檢擧

昨十二日午後十一時頃平町長橋町地内を徘徊してゐる一見勞働者風体の男あるを平署員が擧動不審で檢擧取調たところ此の男は當時住所不定無職水戸市谷中町三町目深谷政明（二二）で去十日午後五時頃群馬縣前橋市々橋商會に忍入り現金十余圓を窃取逃走して來た事を自白したが余罪多い見込み。

▲取消　去十一日付本紙々刊取立金を横領告訴さると題する記事は事實相違する点ありとして青木英一郎より取消方申込あり前記々事の全文を取消す。

濱三郡中等學校
野球リーグ戰組合せ決定

濱三郡四中等學校野球リーグ戰は二十三日、二十四日擧行の豫定を繰上げ十七日擧行する事に變更組合せ左の如く決定した。

尚相馬中學校選手は十六日午後六時三十六分平町着のため試合は十七日一日間で擧行する事に變更した。

一、會場　磐城中學校球場
一、組合
磐中――相中（午前八時）
平商――双中（午前十時半）
平商――相中（午後一時）
磐中――双中（午後三時半）

相馬中學選手宿舍　住吉屋本店
後援　磐城時報社

土地賣却廣告

一、平町字大町十番地　宅地五百六十四坪（分譲致します）
一、同　五番地ノ一　宅地三百七十三坪四合（同上）
一、同　五番地ノ二　宅地百五十四坪（同上）
一、同字新川町三十三番地　宅地百九十三坪三合（同上）
一、同　十七番地　二百九十一坪（同上）

右至急賣却致します。御希望の方は左に御相談下さい。

平町字大町四番地
中野勇吉
電話一三三番

駿馬の嘶き血は躍る

福島競馬へ!!

十六日(土)　十八日(月)　二十三日(土)
十七日(日)　二十二日(金)　二十四日(日)
午前六時出發——午後九時歸着

會費 **金五圓也**

晝食と特等入場券進呈

▲募集人員　毎日　五名　限り▲

平驛構内と一般貸切　電話三二番

不二タクシー

夏の通學服

- 小學用霜降小倉服…40ヨリ
- 〃　上口……85ヨリ
- 〃　特製……1.20ヨリ
- 中學用　〃……2.05ヨリ
- 第二、第三校制服…90ヨリ

各種取揃ひました

平三電203　洋服店 ふかや

おなじみの魚清

御飯とうなぎを

うなぎ丼

始ました
かばやき　五十錢
うな重　五十錢
うな丼　三十錢
うな巻玉子　二十五錢（二人前より）
お土産に……折詰

アイスクリーム始めました
本日より寒暑通り

魚清食堂部

電話六三二番

◎出前やさん至急入用
高給に應じます

御知らせ

住宅新築の爲永らく休業致して居りましたが此程落成致しました。從前の通り營業を開始しましたから何卒御引立の程を願ふ

昭和九年六月九日

四倉町新町
佐藤齒科醫院
電話四一八番

塩豚（コンポーク）

平町田町
三二三屋
電話三三番

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル

特色　このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて參りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えました

新型子供ボーシ各種

ヤルツ

平四番　電話一四〇番

理想的強壯營養料

血肉トーゼ

高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。

適應症
- 血少なく顏色惡き人、胸おどり　一圓
- 心臟弱き人、大病又は産後の衰弱、過勞疲勞又は天性虛弱者　一圓五十錢
- 小兒の營養不良　二圓

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎
特に病氣見舞には最的品

特約店
大平屋藥店
平町一町目　電話六四二番

齒科

平町古鍛冶町九一
神谷齒科醫院
神谷辰夫

電話二五一番開設

有給外務社員招聘

紳士的奮鬪家を求む相當優遇す

有隣生命保險株式會社
平町大町　**平出張所**
鈴木健司

御節句の御引物には

丸共の漆器を是非に!!!

漆器專門の「丸」は

在庫品の豊富と——
品質の正確！　値段の破格
懸命の奉仕をモットーとして
飽迄御期待に添ふやう勉強致します

各國產
專門卸部
丸漆器店
平町三丁目北裏通り